

第35回 酪農試験場 酪農フォーラム開催プログラム

令和5年度の野生獣類による農業被害金額は、前年度に比べて4億7千9百万円増加し59億8百万円であった。そのうちエゾシカによる被害が51億9百万円で圧倒的に多く、ヒグマによる被害が3億3千2百万円でこれに続き、この2種の獣類で被害全体の92%を占める。

これらへの対策としてエゾシカの侵入防止柵やヒグマの食害防止柵の設置効果などは検討されてきているが、エゾシカおよびヒグマによる農業被害は増加しており、その現状を知り、野生獣類の生態に基づいた対策を考えることは被害低減のため非常に重要であると考えます。

そこで、第35回目を迎える酪農試験場 酪農フォーラムでは、エゾシカおよびヒグマの生態に詳しい専門家をお招きし、下記のテーマで開催いたします。

テーマ：北海道におけるエゾシカ・ヒグマによる農業被害の現状と対策

日 時：令和7年11月13日（木） 13:00 ～ 16:00

場 所：酪農試験場 講堂

〒086-1135 標津郡中標津町旭ヶ丘7番地（0153-72-2004）

主 催：（地独）北海道立総合研究機構 酪農試験場

===== プログラム =====

1 開 会

2 開会あいさつ

13:00～13:10

酪農試験場 場長 杉本 昌仁

3 講演 1

13:10～14:10

「エゾシカによる農業被害の現状と対策」

北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所

自然環境部 生態系管理グループ 研究主幹 稲富佳洋

4 講演 2

14:15～15:15

「ヒグマによる農業被害の現状と対策」

北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所

自然環境部 生態系管理グループ 研究職員 白根ゆり

*** 休 憩 ***

15:15～15:25

5 総合討論

15:25～16:00

6 閉 会

16:00

申込書送信先：酪農試験場 乳牛グループ 牧野 司 宛

FAX：0153-73-5329

E-mail：makino-tsukasa@hro.or.jp

第 35 回 酪農試験場 酪農フォーラム参加申込書

日 時：令和 7 年 11 月 13 日（木） 13:00～

場 所：道総研酪農試験場 講堂（中標津町旭ヶ丘 7 番地）

ご所属（個人の方はご住所）	お名前

※締め切り：11 月 4 日（月）

どなたでも参加いただけます（参加料無料）。

なお、当日参加も可能ですが、資料の準備の関係上、出席者数把握のため、
お手数ですが、本申込書にご記入の上、FAX もしくは E-mail で送信してください。